

第1学年 生活科学習指導案

日時 令和4年6月29日(水) 5校時
対象 第1学年4組30名
指導者 岡谷 順子

1 単元名 きれいにさいてね

『はなのようすをつたえよう』(東京書籍 P.32~P.35)

2 単元の目標

- 植物を継続的に栽培する活動を通して、植物は生命をもっていることや成長していることに気付くことができる。【知識及び技能】
- 植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができる。【思考力、判断力、表現力等】
- 植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物への親しみをもち、大切にすることができる。【学びに向かう力、人間性等】

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・自分が世話をしたことで、植物がきれいな花を咲かせたことに気付いている。	・植物の成長の様子に見通しをもって、開花への期待を話したり書いたりしている。	・開花への思いを込めて観察や記録をしている。

4 単元について

(1) 教材観

低学年のこの時期は、対象に心を寄せながら、諸感覚を通して繰り返し関わることを意識したい。それは、対象を正確に事細かに描写することをねらうだけでなく、情緒的な側面を伴いつつ児童が捉えた事実に基づくものの見方や捉え方を尊重したい。

花の成長を伝え合うときは、口頭だけでなく、身体表現やICTの活用などでそれぞれの児童が伝えやすい方法で行いたい。

(2) 児童の実態

1年生らしくどんなことにも積極的に取り組み、明るく元気な児童が多い。植物の世話をした経験がある児童は多いが、種から育てている様子はなく、家族が育てているのを見たぐらいである。この単元が始まると、あさがおの花を咲かせたいという期待やなぜ葉が大きくなるのかななどの疑問が次々とわいてくる様子でもあった。同じように種を植え、水をあげているのに友達の芽は出ているのに自分の芽が出てこないことを不思議に思うこともあった。また、毎日欠かさず水やりをすることであさがおが次第に成長することへの喜びを毎日感じている。

5 研究主題との関連

(1) 主題に迫るための2つの手だて

研究主題に迫るために本単元における手だてや学習活動を以下に示す。

個別最適な学び

- ・カメラ機能を使うことであさがおの成長を記録しやすくする。
- ・一人一人が自分のあさがおの世話をすることで、あさがおの成長に気付けるようにする。

協働的な学び

- ・コラボノート®EX を使って、あさがおの成長を友達同士で伝えやすくする。
- ・コラボノート®EX を使って、あさがおの成長を学級全体に広げられるようにする。

(2) ICT 活用の経過

タブレットの具体的な活用実態について以下の表にまとめた。

時期	ツール	内 容
6月8日	カメラ	タブレットの配布 タブレットの約束 電源オン、オフの方法 写真の撮影の方法
6月9日	コラボノート®EX	マイノートに写真を張り付ける方法 写真の縮小・拡大の方法 手書き入力の方法
6月13日	カメラ	写真撮影の練習
6月16日	コラボノート®EX	付箋の貼り方 かな入力の仕方
6月21日	Google Classroom	Google Classroom の使い方。

6 単元の指導と評価の計画（4時間扱い 本時 4 / 4 ）

時	学 習 活 動	○評価規準【観点】★ICTの活用
1	<p>○あさがおの世話をされていて気付いたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1枚目のあさがおの写真を撮る。 ・タブレットのカメラ機能を使って、あさがおの全体写真を撮る。 ・あさがおの世話をして気付いたことを話し合う。 	<p>○自分の育てている植物が成長していることに気付いている。 【知・技】</p> <p>○開花への思いを込めて観察や記録をしている。 【態】</p> <p>★タブレットのカメラ機能</p>

2	<p>○1枚目のあさがおの写真をコラボノート®EXに貼り付け、気付いたことを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コラボノート®EXに写真の大きさに気を付け貼り付ける。 ・付箋を使って気付いたことを書く。 	<p>○自分の育てている植物が成長していることに気付いている。 【知・技】</p> <p>○開花への思いを込めて観察や記録をしている。 【態】</p> <p>★コラボノート®EX</p>
3	<p>○あさがおの世話をしている気付いたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2枚目のあさがおの写真を撮る。 ・タブレットのカメラ機能を使って、あさがおの全体写真を撮る。 ・あさがおの世話をしている気付いたことを話し合う。 	<p>○自分の育てている植物が成長していることに気付いている。 【知・技】</p> <p>○開花への思いを込めて観察や記録をしている。 【態】</p> <p>★タブレットのカメラ機能</p>
4 本 時	<p>○2枚目のあさがおの写真をコラボノート®EXに貼り付け、気付いたことを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コラボノート®EXに写真の大きさに気を付け貼り付ける。 ・付箋機能を使って気付いたことを書く。 	<p>○自分の育てている植物が成長していることに気付いている。 【知・技】</p> <p>○開花への思いを込めて観察や記録をしている。 【態】</p> <p>★コラボノート®EX</p>

7 本時の指導（ 4 / 4 ）

(1) 目標

○あさがおを観察して気付いたことや思ったことをまとめる。

(2) 展開

	学 習 活 動	○評価【観点】 ※指導上の留意点 ★ICT の活用
導 入 10 分	1 手本の2枚目の写真を見て、気付いたことを発表する。 2 自分のあさがおの写真を見てコラボノート®EX に気付いたことを書き込み友達と伝え合うことを知る。	※1枚目のあさがおの写真と比較することに気付かせる。 ※本時の学習を確認し、児童が見通しをもてるようにする。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">2まいめのあさがおのせいちょうについてまとめよう。</div>	
展 開 25 分	3 自分のあさがおの写真を見てコラボノート®EX に気付いたことを書き込む。 ・発見したこと・・・黄色の付箋 ・不思議に思ったこと・・・青の付箋 ・自分の気持ち・・・ピンクの付箋	★コラボノート®EX の活用 ※何を書いたらよいか分からない児童には、手本の言葉を参考にするよう言葉掛けをする。 ※1枚目の写真と比べると書きやすいことを言葉掛けをする。 ○自分の育てている植物が成長していることに気付いている。 【知・技】 ○開花への思いを込めて観察や記録をしている。 【態】 ※早く書き込みが終わった児童はタブレットを使って、あさがおの成長について気付いたことを友達と伝え合う。
ま と め 10 分	4 コラボノート®EX を使って、全体であさがおの成長の様子を振り返る。	※自分が世話したことであさがおがきれいな花を咲かせようとしていることに気付くようにする。

1. 視点1「コラボノート®EXを使用したことは、あさがおの成長を見比べることに有効であったか。」

○写真を添付したことで、はっきりと成長の違いを感じていた。

●写真を見比べることで、違いを見付けることはできていたが、あさがおの触感やにおいなど、実物の変化の気付きは少なかった。

2. 視点2「コラボノート®EXのマイノート機能は、児童にとって互いのよさや違いに気付くことに有効であったか。」

○写真を添付したことで、あさがおの成長が友達と同じだったり違ったりすることが伝わりやすかった。

●友達との共有で移動していたので、協働学習ノートを活用した方がよかった。

●付箋をたくさん書ける児童には、複数枚付箋を書かせてもよかった。

3. その他

○コラボノート®EXを使用することで、児童の観察力や語彙力が伸びた。

○コラボノート®EXを活用することで、書くことが苦手な児童が、すすんで参加することができた。

○ICTを活用したことで、どの授業も集中して取り組むことができるようになった。

指導・講評 NPO みんなのコード 福田 晴一 先生

- ・あさがおの観察は夏の風物詩。写真を撮ることで自分で描いた絵よりも効率的に成長を捉えることができる。
- ・タブレットの技能は生活上必要な習慣や技能になる。したがって、生活科の単元目標と一致するのではないか。
- ・今まで以上にカリキュラムマネジメントが必要な時代になってきている。
- ・タブレット配布後、教育課程のどの時間で活用スキルを指導するのか、検討が必要である。
- ・五感を活用したインプットを、情緒面も伴う表現をICTも活用してアウトプットする流れがよい。
- ・付箋のポイントを色分けで表していたのがよかった。
- ・ひらがな入力が50音表とマッチングしていてよい。
- ・友達と積極的に意見交換をする姿が、1年生とは思えないほど積極的だった。